

多高通信

第173号 令和元年 12月26日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

修学旅行に行ってきました！



12月1日から4日の4日間、2学年が関西方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は清水寺と金閣寺で全体研修を行いました。2日目は班別自主研修として京都市内をグループごとにまわりました。寺社仏閣等の文化的価値のある建物や、京都でしか味わうことのできない食文化等に触れ、宮城との違いを肌で感じていました。3日目・4日目はクラス別研修として、奈良・大阪方面へ足を延ばし、奈良公園や大阪の道頓堀など、関西ならではの文化を沢山感じることができました。

■修学旅行実行委員長

2年2組 白井奎吾

(東豊中出身)

私が今回の修学旅行を終えて感じたことは、大問的な成長です。

私たち44回生は、自分たちで積極的に行動するということよりは、少し奥手がちになっってしまう人が多い傾向があると思っています。しかし、今回の修学旅行を通して



変化した生徒が多かったのではないかと思います。自主研修の準備等で班のメンバーと意見を交わし合ったり、困ったことがあったら、自分一人で抱え込むのではなく、現地の方やガイドさんに尋ねたりするなどの姿が多く見られました。生徒それぞれがいろいろな経験をすることができた4日間になったと思います。

私たち44回生は、この経験を活かし、互いに高め合いながら進路実現へと切り替えていきたいと思っています。



1学年災害科学科 社会と災害特別授業

11月16日、国際航業株式会社より鈴木雅人さんをお招きして、災害科学科1年生に特別授業を行っていただきました。

環境省や国土交通省が提唱している「生態系を活用した防災・減災(Ecosystem-based Disaster Risk Reduction: EoDRR)」の考え方を基に、災害と自然環境との関わりについて、自然の力をうまく使って災害による被害を軽減させる方法を教えていただきました。

また、後半のワークショップでは広瀬川の河畔林問題をテーマに、木を伐採すべきか残すべきかグループに分かれて話し合いました。

■1年7組 久我美咲

(幸町中出身)

防災や減災のためには人工物で乗り切るしかないと思ってしまう。木材を使っても腐るし、すぐに崩れたり流されたりするし、盛り土をしても崩れてしまうかも



しれない。しかし、今回の授業を受けて、木にもいいところはある。たくさんあって、伐採すべきではないという考えに変わりました。

■1年7組 村上隼都 (東豊中出身)

今回の授業を受けて、環境に配慮しながら工事を行うことの大切さを学びました。広瀬川の中州についてグループで話し合ったときは、たくさん意見が出ました。木を伐採した場合も残した場合もそれぞれの利点があり、結論をどうするかとても迷いましたが、やはり環境を守ることが大切だということが一番に考え、私たちのグループは木を伐採しないという結論を出しました。

2学年 課題研究代表発表会



12月10日、2学年 課題研究の総まとめとして、11月のポスターセッションにおいて選ばれた7グループによる口頭発表会を行いました。文部科学省や科学技術振興機構などから8名のご来賓の方々にご参観いただき、また、

アドバイザーとしてこの学年の課題研究に携わり続けてくださっている東北工業大学の菅原景一先生もお越しくくださいました。

投票の結果、グランプリに輝いたのは2組のペニランドを有名にしたい！……チームでした。現地調査やアンケートを実施しただけではなく、比較動画を作成して流したことで聞き手の興味を引いたこと、何よりも発表者の4人が楽しく研究してきたことが伝わった発表でした。

最後に、東北工業大学の菅原先生から、講評と表彰をしていただきました。



グランプリのグループの皆さん

■生徒の感想

○どの班も個性あふれる、興味を引く研究テーマで聞いていても楽しい時間でした。また、どの班もスライドが「こちゃこちゃ」文字を羅列するのではなく、グラフやイラスト、短い文章をバランスよく使用して見ていて疲れないスライドで、とても参考になりました。質疑応答での受け答えもつまるところなくしつかりしてとても尊敬しました。

○1年生の時の課題研究発表会ときよりも格段にレベルアップしていると感じました。笑いを交えながらも、分析・考察・まとめは本格的で細かく、素晴らしい発表でした。自分も真似したいと思いました。

2学年 シチズンシップ教育講演会

選挙制度講座

12月19日、多賀城市

選挙管理委員会の方々に講師としてお迎えし、2学年を対象に選挙制度に関する講座が行われました。選挙権が18歳から与えられたことで、選挙権を持つ高校生と持たない高校生が同じ生活を送ることとなりましたが、選挙の意義や制度について改めて学ぶ機会となりました。

■生徒の感想

○世の中では選挙権が18歳に引き下げられたといわれているのに、自分としては実感がありません。今日の講演で選挙の重要性や意義などがよく分かりました。講師の先生の「若者が選挙に行かないと高齢者優先の街づくりになり、皆さんにとってとても住みにくい街になってしまったり、若者の意見がそもそも通らない政治となってしまったりしてしまいう可能性がある」というお話は非常に強く印象に残りました。

まずは、自分が選挙権を持つことから最初に行われる選挙に行き、投票することから始めてみようと思います。

○ニュースや選挙の特番を見ると、皆口だけいいことを言っているように聞こえてしまい、どんな人に投票したらいいかわからなくなってしまう。投票というのは未来の自分たちのためになるし、権利を無駄にしたいくはありません。政治に積極的に参加したいです。選挙権を得る前にこの話を聞くことができてよかったです。



マンガを織り交ぜた分かりやすい解説でした